

## 第一回岩崎コンファレンス開催報告

日本磁気学会が主催する第1回岩崎コンファレンスが平成23年11月24日～25日に仙台市近郊秋保温泉のホテル佐勘で開催されました。参加者は65名でした。本コンファレンスは岩崎俊一名誉会員より2010年日本国際賞受賞を記念して日本磁気学会にいただいた寄付をもとに企画されたもので、磁気と磁性に関する我が国の学術と産業の発展に資することを目的にしています。技術分野を先導して切り拓いた開拓者による基調講演と、毎回技術分野を設定して当該分野を代表する第一線の研究者による招待講演の2つの柱から成っています。

基調講演として、我が国の電子通信技術と情報科学のイノベーションを先導した著名なパイオニアとして、東京工業大学栄誉教授末松安晴先生による「超高速長距離光ファイバ通信の基礎研究 ～動的単一モードレーザの概念創成と実現そして展開～」及び国立国会図書館長長尾真先生による「国立国会図書館における電子図書館」としてイノベーションの具体例について講演がありました。さらに、垂直磁気記録及び情報ストレージを今回の技術分野に選び「垂直磁気記録が拓く磁性科学と情報ストレージ技術」とのタイトルを掲げました。この分野を代表する第一線の研究者8名による学術と応用技術に関する幅広い研究成果や産業展開への波及効果などに関して講演され引き続いての活発な議論が行われました。

冒頭松木英俊日本磁気学会長の趣旨説明と岩崎俊一名誉会員の挨拶で始まり、初日の懇親会をはさんで2日間にわたる講演が下記のプログラムに沿って行われました。

### 【プログラム】

#### 基調講演 I

末松安晴（東京工業大学栄誉教授） 「超高速長距離光ファイバ通信の基礎研究～動的単一モードレーザの概念創成と実現そして展開～」

#### セッション I 垂直磁気記録によって拓かれた磁性サイエンス

高橋研（東北大学） 「高密度磁気記録媒体と磁性材料の物理」

岩崎仁志（東芝） 「スピントロニクスによる再生ヘッドの高感度化」

#### 基調講演 II

長尾真（国立国会図書館長） 「国立国会図書館における電子図書館」

#### セッション II 高密度垂直磁気記録技術の開拓

高野公史（日立グローバルストレージテクノロジーズ）「垂直磁気記録ドライブの進化と挑戦」

本間敬之（早稲田大学）「ウェットプロセスによるビットパターン媒体の形成」

野口潔（TDK） 「垂直磁気記録のヘッド技術」

金井靖（新潟工科大学） 「単磁極型ヘッドの計算機シミュレーション」

セッション III 垂直磁気記録による情報化社会の変革

亀井信一（三菱総研） 「情報爆発とデータセンターの動向」

田中陽一郎（東芝） 「IT 社会における垂直記録ストレージの役割と進展」

